

第 22 回 春の文化芸能祭

時 3月1日(日)、正午～午後3時（開場は午前11時30分）

※午前11時よりエントランスホールで祝舞あり。

所 岩木文化センター「あそべる」（賀田1丁目）

内容と出演

第1部

①ジャズ演奏（ジャズアンサンブル^{すい}粋族館）／②伝統芸能（岩木登山ばやし保存会）／③舞踊（弘前民踊同好会）／④ロックバンド（シュリンテール）／⑤舞踊（西川流菊静会）／⑥伝統芸能（鳥井野獅子踊保存会）／⑦演劇（演劇ユニット一揆の星）／⑧舞踊（弘前民踊同好会）／⑨ロックバンド（あお）／⑩舞踊（三藤流祥玲花会）／⑪よさこい（弘前桜会）

第2部 お笑い長谷川一座公演と歌謡ショー

①お笑い長谷川一座公演（二代目座長 長谷川ゆうま、長谷川清一、前田美代子、須田慎）／②歌謡ショー（三津谷有華、三津谷貴之、石岡佳樹、丹藤全子）
※ゲスト出演…山本祐華（第51回青森県手踊名人決定戦名人位）

問 岩木文化協会（長谷川さん、☎ 090-4638-4322）

H-MOCA レクチャー特別編

「抽象ってなんだろう？形と色があらわす意味」

弘前や津軽地方の文化・風土から生まれた、弘前れんが倉庫美術館の多彩なコレクション作品を手がかりに、作品の背景にある歴史や国際的なアートの動き、社会とのつながりなどをわかりやすく紹介します。アートをより深く楽しむための視点を育む講座です。

時 3月4日(水)、午後6時～7時（受け付けは午後5時45分から）

所 弘前れんが倉庫美術館（吉野町）スタジオ B

対 30人 **料** 1,000円

申 ホームページ内の専用フォーム、電話

問 弘前れんが倉庫美術館（☎ 32-8950）



杉戸洋《untitled》2017年 作家蔵
©Hiroshi Sugita, Courtesy of Tomio Koyama Gallery
Photo by Kenji Takahashi



岩木山麓でスノーシューハイク体験 ～岩木山周辺の温泉も楽しめます～

岩木山麓周辺をスノーシュー（西洋かんじき）でハイキング（往復2時間30分～3時間）した後は、棒パン作りをしながらお弁当を食べます。参加者には、岩木山周辺の温泉に入ることができる「湯めぐり手形」をプレゼントします。

時 3月7日(土)、午前9時～午後2時

集合場所 ペンションワンダーランド（常盤野字黒森）

対 小学校4年生以上＝20人

※小学生が参加する場合は、保護者同伴／応募多数の場合は、抽選で決定し、2月24日(火)までに申込者へ結果を通知します。

料 1,500円（弁当、傷害保険料等込み）

持 スキーウェア等（上下）、防寒靴（長靴可）、入浴道具（必要な人）、おやつ、飲み物

※スノーシューとストックは無料貸し出しあり。

申 二次元コード、電話／2月20日(金)まで

問 岩木みらい協議会（岩木総合支所総務課内、☎ 82-1621）



響け音楽の祭典～第三章～

歌謡・民謡・三味線・手踊り・バンド・お笑いトークの共演をお楽しみください。

時 3月15日(日)、午後1時30分～4時30分（開場は午後1時）

所 岩木文化センター「あそべる」（賀田1丁目）

出演 黒石八郎、横山ひでき、美咲綾花（歌謡・弘前市出身）、長峰健一（三味線）、葛西頼之（三味線）、西塚淳子（民謡）、石川義梅会（手踊り）、岩木絃遊会（三味線）、岩木ファミリーバンド

その他 席数（571席）を超える来場があった場合、入場を制限することがあります。

問 岩木文化センター自主事業実行委員会事務局（中央公民館岩木館内、☎ 82-3214）

安全・生活環境・防災

全国瞬時警報システム（Jアラート）の試験放送

地震や武力攻撃などの発生に備え、全国で一斉試験を行います。防災行政無線から試験放送が流れます。今年度は計4回の試験が予定されており、今回が4回目になります。

時 2月6日(金)、午前11時

※気象状況等によっては中止の場合があります。その場合、2月20日(金)を予備日とします。

なお、防災行政無線の内容を確認したい際には、テレホンサービス（☎ 40-7110、サービス料は無料で通話料が発生）をご利用ください。また、防災行政無線アプリからは放送されません。

問 防災課（☎ 40-7100）

ゼロカーボン ひろさきチャレンジ!! #18

「ゼロカーボンシティひろさき」の実現に向けて、できることから一緒にチャレンジしてみましょう！
今号のテーマはリユース品です。

問 環境課ゼロカーボンシティ推進係（☎ 32-1969）



☐ 中古の服や本などをリサイクルショップやフリマアプリで購入する

→通常より安く手に入れられる

→ものを長く使うことでごみの排出量削減に！

例えば…



1年間で購入する品について、新品の代わりにリユース品を購入した場合

CO₂削減量
45.4kg -CO₂/年
杉の木約5.2本分が1年間に取込む量に相当

時 とき **所** ところ **内** 内容 **対** 対象・定員 **料** 料金 **持** 持ち物
申 申し込み **問** 問い合わせ・申込先 **F** ファクス **E** Eメール

交通災害共済

問 地域交通課
（☎ 35-1102）

加入受け付けを開始

1日1円で助け合う「青森県交通災害共済」の令和8年度分の受け付けが、2月2日(月)から始まります。

交通災害共済とは

全国どこで起きた交通事故でも、通院や入院、死亡した場合に、災害の程度に応じて見舞金または弔慰金を支給する制度です。

加入できる人

- ① 県内の市町村に住民登録がある人
- ② ①と生計を同じにしている、通勤または通学のため、県外に居住している人
- ③ 県外の市町村に住民登録がある人で、県内にある学校等に在学している人

共済期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日（共済期間開始後は加入時点から）

掛け金 1人350円

申込先 地域交通課（市役所3階）、岩木・相馬総合支所民生課、各出張所窓口

※総合行政窓口（ヒロロスクエア内）、市民課城東分室（総合学習センター内）では受け付けしていません。

支給の対象となる交通事故 自動車同士の事故、歩行中に自動車や自転車と接触した事故、自転車走行中の転倒による単独事故など

支給の対象とならない交通事故 歩行中の転倒や作業中の事故（工事現場や農作業中の事故など）、無免許運転や酒気帯び運転・自転車の二人乗りなどによる事故、地震や強風などの天災が原因で発生した事故、車両の乗り降りの時に起きた事故など

共済見舞金など

●けがで通院や入院をしたとき…見舞金3～7万円（後遺障害が残った場合は50万円）

●死亡したとき…弔慰金100万円

※交通事故証明書が発行されない場合、見舞金等が支給されません。このような時は、災害の程度に関わらず「特例見舞金」として1万円を支給します。

請求期間 交通事故が発生した日から1年以内（後遺障害が残った場合は2年以内）

交通事故にあったら必ず警察に届け出を！

交通事故にあった場合、必ず警察署または最寄りの交番に届け出てください。同乗者や相手方がいない自損事故なども必ず届け出ましょう。届け出をしないと交通事故証明書が発行されません。